

2021 年度

事業報告書

2021 年 4 月 1 日から
2022 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念をもとに各種事業を行う。

1. 役員 (2022年3月31日現在)

理事長 (代表理事) 山蔭 道明 (理事)

常務理事 内野 博之 (理事 (副理事長)) 萬 知子 (理事 (副理事長))
齋藤 繁 (理事) 中塚 秀輝 (理事) 松本美志也 (理事)

理 事 内田篤治郎 岡本 浩嗣 加藤 里絵 坂口 嘉郎
鈴木 孝浩 祖父江和哉 高雄由美子 恒吉 勇男
間宮 敬子 水野圭一郎 溝渕 知司 山内 正憲

監 事 足立 健彦 小澤 章子 白神 豪太郎

代議員 336 名 (2022年3月31日現在)

青山 和義	赤塚 正文	赤松 繁	秋吉浩三郎	朝井 裕一	浅野 市子	麻生 知寿
足立 健彦	天谷 文昌	新井多佳子	荒川 穰二	飯田 宏樹	五十嵐あゆ子	五十嵐 孝
生田 義浩	池田 栄浩	池田 健彦	出田真一郎	井関 雅子	磯野 史朗	市原 靖子
伊藤 伸子	伊東 義忠	稲垣 喜三	稲葉 晋	井上 聡己	井上 莊一郎	猪股 伸一
伊良波 浩	岩崎 達雄	岩瀬 良範	印南 靖志	上田 朝美	上野 博司	上山 博史
内田 寛治	内田篤治郎	内野 博之	内山 昭則	宇野 太啓	梅垣 修	江木 盛時
枝長 充隆	逢坂 佳宗	大内 貴志	大江 克憲	大下 恭子	大田 典之	大瀧 千代
大西 佳彦	大畑めぐみ	岡崎 純子	岡本 浩嗣	岡安 理司	奥 格	奥田 泰久
奥富 俊之	小澤 章子	忍田 純哉	小田 裕	尾前 毅	折井 亮	甲斐 慎一
甲斐 哲也	香川 哲郎	垣花 学	角田 奈美	加瀬 幸子	鹿瀬 陽一	香月 亮
加藤 孝澄	加藤 里絵	加藤 亮子	香取 信之	上林 卓彦	紙谷 義孝	辛島 裕士
狩谷 伸享	川口 昌彦	川越いづみ	河野 崇	川前 金幸	川股 知之	川真田樹人
神田 恵	菊谷 健彦	木倉 睦人	岸川 洋昭	木田 景子	北 貴志	北川 裕利
北口 勝康	北野 敬明	北村 晶	北村 咲子	鬼頭 剛	木下 真弓	金 徹
木村 信行	日下 裕介	櫛方 哲也	葛本 直哉	久米 正記	倉迫 敏明	倉田 二郎
栗山 俊之	小泉有美馨	小坂橋俊哉	河野 昌史	幸村 英文	小嶋亜希子	小杉志都子
小竹 良文	小林 俊哉	小林 佳郎	小松 郷子	小松 孝美	小森万希子	小山 薫
金 正	近藤 一郎	近藤 修	齋藤 繁	齊藤 達志	齋藤 智彦	齊藤 仁志
齊藤 洋司	佐伯 昇	酒井 陽子	坂口 嘉郎	坂本 篤裕	坂本 三樹	鷺島 克之
佐倉 伸一	笹川 智貴	笹野 信子	佐藤 健治	佐藤 哲文	佐藤 智行	佐藤 祐子
佐藤 善一	讃岐美智義	佐和 貞治	澤井 俊幸	澤村 成史	志賀 達哉	重松 研二
重松次郎	昌幸	信太 賢治	設楽 敏朗	篠塚 典弘	柴田伊津子	柴田 康之
渋谷 博美	島崎 睦久	清水 淳	下田 栄彦	生野慎二郎	白神豪太郎	白水 和宏
進藤 一男	末廣 浩一	杉田 道子	杉本 祐司	鈴木 健二	鈴木 孝浩	鈴木 健雄
鈴木 武志	鈴木 宏昌	鈴木 康之	須藤 貴史	角倉 弘行	關山 裕詩	祖父江和哉
田家 諭	多賀紀一郎	田垣内祐吾	高雄由美子	高岡 誠司	高木 敏行	高澤 知規
高薄 敏史	高田 幸治	高田 基志	高橋 完	高橋 麗子	田北 彰	瀧田 恒一
田口奈津子	武居 哲洋	竹内 護	多田 文彦	多田羅恒雄	田中 克哉	田中 聡
田中 具治	田中 裕之	田中 誠	田中 基	田辺久美子	田辺瀬良美	谷 真規子
谷上 博信	谷口 巧	谷本 宏成	玉井 久義	田村 尚	杖下 隆哉	辻田 美紀
堤 保夫	恒吉 勇男	角田 健	角渕 浩央	坪内 宏樹	寺尾 嘉彰	土井 克史
遠山 悟史	戸田雄一郎	富岡 俊也	富田 行成	外山 裕章	中川 博美	長坂 安子
中島 芳樹	長瀬 清	長田 理	中田 一夫	中塚 逸央	中塚 秀輝	中西 美保

中根 正樹	中平 淳子	中村 信一	中本 あい	中山 英人	中山 禎人	成田 昌広
成松 紀子	名和由布子	西田 修	西部 伸一	西脇 公俊	野村 岳志	野村 実
萩平 哲	橋口さおり	橋口 光子	馬場 洋	濱口 眞輔	濱崎順一郎	原 哲也
原武 義和	東 龍哉	東 美木子	東みどり子	日高 秀邦	尾頭希代子	尾藤 博保
平井 裕康	平川奈緒美	平木 照之	平田 直之	平田 学	廣瀬 宗孝	廣田 和美
深田 祐作	藤井 洋泉	藤野 裕士	藤野 能久	藤村 直幸	藤原 亜紀	洲上 竜也
保利 陽子	堀下 貴文	本多 信雅	牧野 洋	増田 美奈	松浦 正	松川 隆
松永 明	松本 重清	松本 晶平	松本美志也	間宮 敬子	丸山 一男	丸山 晃一
三尾 寧	水野圭一郎	水本 一弘	溝田 敏幸	御園生与志	溝渕 知司	南 敏明
宮田 裕史	村上 衛	村田 寛明	室園美智博	森 隆	森 美也子	森崎 浩
森松 博史	森本 裕二	森山 潔	森山 孝宏	森脇 五六	諸岡 浩明	安田 季道
安田 善一	矢野 武志	山内 浩揮	山内 正憲	山浦 健	山蔭 道明	山口 敬介
山口 重樹	山口 浩史	山崎 光章	山下 敦生	山下 幸一	山田 圭輔	山田 高成
山本 拓巳	山本 達郎	山本 博俊	山本 洋子	湯浅 晴之	湯本 正寿	吉田 仁
吉松 貴史	萬 知子	若崎るみ枝	吾妻 俊弘	脇本 将寛	輪嶋善一郎	渡邊 恵介

2. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

1. 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

2. 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

3. 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

4. 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などのコメディカルと真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

5. 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

3. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

（1）公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせ

て国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（**学術事業・交流事業**）

公2 会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業（**教育事業・安全事業**）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（**公益事業**）

（2）収益事業等

収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

4. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

- | | |
|-------|-------------------------|
| 1. 日 | 時：2021年4月23日（金） |
| 2. 場 | 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB |
| 3. 理 | 事：22名 監事：3名 |
| 4. 出席 | 者：理事22名 監事3名 オブザーバー：13名 |

第2回 理事会

- | | |
|-------|-------------------------|
| 1. 日 | 時：2021年5月25日（火） |
| 2. 場 | 所：WEB会議 |
| 3. 理 | 事：22名 監事：3名 |
| 4. 出席 | 者：理事22名 監事：3名 オブザーバー：1名 |

第11回 定時社員総会

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 日 | 時：2021年6月2日（水） |
| 2. 場 | 所：神戸ポートピアホテル南館 ポートピアホール |
| 3. 社員 | 数：336名 |
| 4. 理事現在数 | 数：18名 |
| 5. 理事出席者数 | 数：13名 |
| 6. その他出席者数 | 数：65名（うち委任状154名、議決権行使書175名） |

第3回 理事会

- | | |
|-------|---------------------|
| 1. 日 | 時：2021年6月3日（木） |
| 2. 場 | 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB |
| 3. 理 | 事：18名 監事：3名 |
| 4. 出席 | 者：理事18名 監事：3名 |

第4回 理事会

- | | |
|-------|---------------------|
| 1. 日 | 時：2021年8月27日（金） |
| 2. 場 | 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB |
| 3. 理 | 事：18名 監事：3名 |
| 4. 出席 | 者：理事18名 監事：3名 |

第5回 理事会

- | | |
|------|---------------------|
| 1. 日 | 時：2021年11月26日（金） |
| 2. 場 | 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB |
| 3. 理 | 事：18名 監事：3名 |

4. 出席者：18名 監事：3名 オブザーバー：1名

第6回 理事会

1. 日 時：2022年3月25日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事：18名 監事：3名
4. 出席者：18名 監事：3名 オブザーバー：1名

5. 事業報告

（1）公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1，公2，公3にある事業を組織運営上，委員会に割り振り運営を行っている。

公1は，学術事業，交流事業であり担当委員会は，以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は，教育事業，安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会
- ・救急心肺蘇生検討委員会

公3は，公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

（2）収益事業

収1は，医師賠償責任保険，所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収2は，学術集会開催時に附設展示会を実施した。

（3）管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き，運営を行った。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局

各委員会の委員長は理事とし，統括として常務理事において運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

（1）公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会（委員長・担当常務理事：中塚常務理事）

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し，あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し，新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り，その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし，中期および短期計画を立案し，その実行にあたる。学術事業戦略は，大きく A. 学術集会運営，B. 機関誌，準機関誌の発行，C. 麻酔科学用語集の編集・発行に分けられる。

【2021 年度報告】

2021 年度は，第 68 回学術集会 WEB 開催，新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた緊急時の年次および支部学術集会運営に関する事項の検討，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の運用開始への対応，第 69 回学術集会一般演題要項の見直しと採否検討，第 70 回学術集会運営組織体制整備と企画検討，2023・2024 年度の支部学術集会を現地開催とすることを決定，演題投稿・査読・参加申込みシステムの見直しについて検討，2022 年度受賞学会賞審査，第 69 回年次学術集会開催 JA シンポジウム内容決定，

学術研究推進助成課題の経過審査, 準機関誌「麻酔」に関する覚書を克誠堂出版社と締結, 同誌への査読員候補者の推薦, 機関誌 JA, JACR 発行等を行った.

★ 委員会開催回数 5 回 (4 月, 7 月, 11 月, 12 月, 1 月)

2) 国際交流委員会 (委員長: 加藤理事・担当常務理事: 中塚理事)

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し, その中期および短期計画を立案, 実行にあたる.

【2021 年度報告】

- ・KoreAnesthesia2021 へ派遣演者 (3 名) の選定を行った.
- ・第 68 回学術集会にて国際交流委員会企画「22 世紀に向けての麻酔科医のキャリアプラン-Will you join in the historic events?-」を実施した.
- ・ウェビナーによる新たな国際交流について検討を行った.
- ・国際交流委員会活動や, 関連学会の紹介のための広報活動を開始した.
- ・東アジア関連学会との関係強化めざし, まず KSA と KSA-JSA ジョイントセッションを行うこととした. KSA と話し合いながら, AACA2022, JSA2023 で開催するジョイントセッションのプログラムを企画した.
- ・AACA2022 の演者公募をはじめ, 海外学会の演者派遣の公募を開始した.

★委員会開催数 2 回 (7 月, 8 月)

3) 関連領域検討委員会 (委員長: 水野理事 担当常務理事: 内野理事)

【業務内容】

関連領域検討委員会は, 「他領域と協働する医療」に関連する交流事業として, 集中治療, 救急医療, 疼痛治療, 緩和医療, 心臓血管麻酔, 産科麻酔, 小児麻酔などの麻酔科関連領域団体・構成員と協議・連携し, 麻酔科医が幅広い分野においてその能力を発揮して活躍するための基盤構築にかかる活動を行う.

【2021 年度報告】

2021 年度は, サブスペシャリティ領域学会専門医制度の日本専門医機構認定取得に向けた教育委員会との合同らびにサブスペシャリティ連絡協議会を介した協議, 第 69 回学術集会の委員会企画の検討, 教育委員会主導による教育ガイドライン改訂作業, 教育委員会主導による教育ガイドライン改訂作業, 心肺蘇生および二次救命処置に関するトレーニングコースの開催, 救命救急士の気管挿管に関するアンケートの検討, 関連学会協議会 (仮称) の提案, 翌年度事業計画の策定を行った. また, 理事会決議に基づいて他団体との交渉・委員派遣・共同作成物の詳細検討を行い, 無痛分娩関連学会・団体連絡協議会 (JALA) における無痛分娩に関与する麻酔科医の講習会受講要件の見直し (安全委員会と合同), 日本救急医療財団による「救急蘇生法の指針 2020 医療従事者用 妊産婦の蘇生」の原稿確認, 日本産科婦人科学会を始めとする複数団体で共同策定する「産科危機的出血への対応指針 2022」の検討を行った.

★ 委員会開催回数 1 回 (1 月) 持ち回り審議回数 3 回

<公 2 : 教育・安全事業>

1) 教育委員会 (委員長・担当常務理事: 内野理事)

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する. 学会理念の 1 項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため, 認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る. 専門医, 指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う. 高度な知識, 判断力, 技術を向上, 維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する.

また、非会員に向けた教育事業と連携し、多職種への教育普及、認定の実施、関連団体との折衝を実施し、周術期管理チーム医療の確立を目指す。

【2021 年度報告】

日本専門医機構専門医制度について機構との折衝、研修プログラムの募集・審査についての検討、専門医試験の作成と実施にあたっての COVID-19 対応の検討、機構専門医制度、学会認定制度、学会から機構専門医への移行にあたっての検討、及び検討後の制度の変更、こちらに伴うシステム開発を行い、会員に周知、変更後の制度での運営を実施した。また、年次学術集会での専門医機構認定講習の中止と e-learning での配信、他団体での麻酔科領域講習委託請負実施、症例検討会（マンスリー・関西支部）は中止とした。

★ 委員会開催回数 6 回（6 月，8 月，9 月，10 月，12 月，1 月）

① 麻酔科認定医 新規審査

2020 年 12 月～2021 年 3 月，2021 年 4 月～7 月，8 月～11 月に認定申請受付が行われ，各申請受付後に書類審査を実施し，認定を行った。

② 麻酔科認定医 更新審査

2021 年 9 月～10 月に認定申請受付，11 月～2 月に書類審査を実施し，更新認定を行った。

③ 麻酔科指導医 新規審査

2021 年 9 月～10 月に認定申請受付，11 月～2 月に書類審査を実施し，認定を行った。

④ 麻酔科専門医 新規審査

2021 年 5 月～6 月に認定申請受付，7 月～8 月に書類審査を行い，10 月に試験を行った。

⑤ 機構専門医 更新審査

2021 年 9 月～10 月に認定申請受付，11 月～2 月に書類審査を実施し，日本専門医機構が認定する専門医資格の事前審査を行った。

2) 周術期管理チーム委員会（委員長・担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

周術期管理チーム委員会では他職種団体と協働して手術室の基礎教育レベルの底上げによる医療安全向上，早期離床の実現を目指し，他職種非会員へ教材提供，セミナー開催を通して教育機会を設け，その効果を筆記試験，継続した講習会受講により認定する。

【2021 年度報告】

- ・ COVID-19 により第 68 回年次学術集会および支部学術集会の現地開催が中止となったことに伴う対応検討，第 14 回周術期管理チームセミナーおよび 2021 年度支部セミナーは e-learning コンテンツとして配信
- ・ 次年度の各種セミナーの検討と決定
- ・ 筆記試験問題の検証，本年度試験問題の作成と実施にあたっての COVID-19 対応の検討
- ・ 周術期管理チーム看護師新規認定審査，周術期管理チーム薬剤師新規認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士新規認定審査，周術期管理チーム看護師更新認定審査，周術期管理チーム薬剤師更新認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士更新認定審査，周術期管理チーム看護師再認定審査，周術期管理チーム薬剤師再認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士再認定審査
- ・ 連続複数回更新者のステップアップ制度の検討と周知
- ・ 周術期管理チームテキスト第 4 版（改訂版）の正誤表の作成と公開
- ・ 令和 4 年度診療報酬改定で新設される術後疼痛管理チーム加算に対応した研修，管理体制，システムの検討
- ・ 各団体との意見交換

★ 委員会開催回数 0 回，持ち回り審議回数 4 回

① 周術期管理チーム認定資格 新規審査

2021年5月17日～6月30日に認定申請受付，7月～9月に書類審査，11月13日に筆記試験を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の新規認定を行った。

② 周術期管理チーム認定資格 更新審査

2021年10月1日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の更新認定を行った。

③ 周術期管理チーム認定資格 再認定審査

2021年10月1日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の再認定を行った。

4) 安全委員会（委員長：山内理事 担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

安全委員会は，麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する．安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い，さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する．安全事業戦略は，大きく4つの部門，統計調査・情報収集部門，麻酔関連機器部門，薬剤および麻酔手技部門，リスクマネジメント部門に分けられる．

【2021年度報告】

今年度におけるガイドラインの作成進捗は以下の通りである．

- ・術中の心肺蘇生への対応プラクティカルガイドラインを作成中
- ・アナフィラキシーへの対応ガイドライン日本語版を作成中
- ・鎮静に関するガイドライン→安全な鎮静のための提言として作成中
- ・第4版医薬品ガイドラインの改訂作業中
- ・周術期禁煙ガイドライン改訂作業中

その他の事業については下記の通りである．

1. 偶発症例（肺塞栓）専門部会，JSA PIMS 周術期情報システム WG 関連
 - ・JSAPIMS のサポートと改良
 - ・肺塞栓調査 2019 年度の集計作業
2. 医薬品適正評価対策専門部会 関連
 - ・レボブピバカイン保険適用申請準備
 - ・アネレム，キシロカインゼリー2% の出荷調整に関する周知
 - ・フィブリノゲン HT 未承認薬・適応外薬に関する要望書の作成
 - ・コロナウイルス（COVID-19）の影響によるロクロニウム製剤，プロポフォールの供給に関する検討
3. ICD 制度協議会運営 WG 関連
 - ・2021 年度開催 ICD（インフュクションコントロールドクター）講習会の申請（承認済み），および 2022，2023 年度の講習会内容についての検討
4. APSF ニュースレター日本語版作成 WG 関連
 - ・APSF ニュースレター日本語版（2021 年 6 月号，10 月号）発刊ならびに Postoperative Recurarization After Sugammadex Administration Due to the Lack of Appropriate Neuromuscular Monitoring: The Japanese Experience（Tomoki Sasakawa, MD, PhD; Katsuyuki Miyasaka, MD, PhD; Tomohiro Sawa, MD, PhD; Hiroki Iida, MD, PhD）投稿（2021 年 6 月号）
5. 産科麻酔・無痛分娩に関する検討 WG 関連
 - ・無痛分娩関連学会・団体協議会（JALA）における E-learning 講習会（カテゴリー A, B, D）の作成
 - ・日本産科麻酔学会と日本周産期麻酔科学会における教科書作成，試験，認定制度の調整
6. CCP 専門部会 関連
 - 麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等

7. その他

- ・第 67 回学術集会委員会企画の中止，第 68 回学術集会の委員会企画の検討

★委員会開催回数 0 回 持ち回り審議回数 17 回

<公 3：公益事業>

1) 広報委員会（委員長：鈴木理事 担当常務理事：萬理事）

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き，本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する．本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し，その実行に当たる．活動の対象は一般社会，各種マスコミ，会員，臨床研修医，医学生，及び関係各省庁に分けられる．

【2021 年度報告】

第 69 回学術集会ならびに第 70 回学術集会の医学生招待計画の検討，メディアからの問い合わせ対応や重要ニュースの掲載，ニューズレターの企画・校正・発刊，毎月のメルマガ配信等を行った．

麻酔の日のエッセイ募集と審査，ノベルティグッズの配布（適宜），麻酔のしおり動画化の検討，よくある術前合併症解説の学会ホームページ掲載について検討，近畿麻酔科医界（関西支部）の発行，年報（九州支部）の発刊，学会ホームページの見直しを行った．

★委員会開催回数 0 回，持ち回り審議回数 2 回

2) 麻酔博物館委員会（委員長：間宮理事 担当常務理事：齋藤理事）

【事業概要】

麻酔に関する資料を収集，收藏し，麻酔科医ならびに麻酔の歴史を博物館に展示，国民への普及啓発を行う．

【2021 年度報告】

麻酔博物館委員会は，以下の活動を行った．

- ・書籍，文書保存，書籍の整理（棚卸し・製本・不要書籍の廃棄処分）・麻酔博物館寄贈品の選定と受入れ
- ・麻酔博物館改修
- ・ISHA ホームページの改訂
- ・ISHA 開催に向けての企画，手配，運営システムの構築

★ 委員会開催回数 1 回（8 月）

（2）収益事業

<収 1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を，損害保険ジャパン日本興亜株式会社，三井住友海上保険株式会社，東京海上日動火災保険株式会社と締結し，その仲介事務事業を行った．

<収 2>

第 68 回年次学術集会開催が COVID-19 の影響により WEB 開催となり，医療機器，医薬品，検査機器，医療情報示説，書籍等を対象として出展を実施できず，本学会会場での展示小間の提供ができなかった．急遽の変更のため，事前の準備は行っていたために，一部支払いは発生し，極力 WEB 広告掲載に移管した．

(3) その他 (管理運営部門)

1) 総務委員会 (委員長・担当常務理事：齋藤理事)

【業務内容】

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し、学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。また、教育事業ともなる周術期管理チーム認定制度運営に関し、他団体連携の管理を行いつつ、渉外活動を担当する。あわせて、周術期特定行為研修事業の取りまとめを担当する。

【2021 年度報告】

社会保険部会では、次年度企画、さらにその翌年度企画の検討、供給停止予定品目の検討、令和 4 年度診療報酬改定に向けた要望項目の整理、申請準備を行った。また、COVID-19 の影響を考える門田研究班において、外郭団体の一組織として麻酔科領域における調査を実施した。その他、周術期特定行為パッケージ研修を実施、術後疼痛加算の検討と実運営の企画を行った。

その他、第 68 回学術集会における総務委員会企画全般の中止、ならびに翌年度の委員会企画検討を行った。また、2022 年度名誉会員の推薦受付、審査を行った。

★ 委員会開催回数 1 回：(1 月)、メール持回り審議で検討

特定行為研修管理の業務内容と報告事項は以下の通りである。

【業務内容】

高度急性期医療における他職種との協働がスムーズに実践できることを目的とし、「日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修」を実施する。正しい知識を持った麻酔科専門医の指示により、十分な研修を受けた看護師が特定行為を実施することを実現するため、本学会が指定研修機関となり、本学会認定病院を協力施設とした体制下で研修（本学会が提示する手順書モデルに沿い、各認定病院施設で複数の特定行為研修）を適切に実施し、自立してケアを行える看護師を育成する。

【2021 年度報告】

4 月に受講者が研修を開始出来るよう、協力施設の受付、受講者申請の受付を行い、審査を行った。E-learning コンテンツ提供企業と連携し、共通科目、区分別科目の教材提供、提供システムの改善点の検討、運営、指定研修施設としての管理事項の検討を行った。修了証、ピンバッジ等のデザインの検討ならびに作成を行った。

2) 財務委員会 (委員長・担当常務理事：松本理事)

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には、学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために、過去の予算案、決算書、財務管理の実績と現状分析、および将来的予測から、正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持し、地震など災害発生時にも事業継続を可能とするような計画を立案する。

【2021 年度報告】

2019 年度決算、2021 年度各月月締め決算検討、第 67 回年次学術集会暫定決算について適宜検討、経理承認と必要な確認等を行った。また、コロナウィルス (COVID-19) の影響による財務への影響の検証と検討を行った。

★ 委員会開催回数 9 回 (4 月、7 月、8 月、9 月、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月)、メール持回り審議で検討

3) 倫理委員会 (委員長：恒吉理事、担当常務理事：萬理事)

【業務内容】

倫理委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討

する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合、その処分を含む対応について検討する

【2021 年度報告】

「COVID-19 陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策の調査」「手術制限に関するアンケート調査」「周術期禁煙推進アンケート調査」3 件の倫理審査を実施した。調査特別委員会を 1 件立ち上げた。会議においては、上嶋浩順氏論文調査特別委員会からの追加調査報告書を受けての処分案について審議を行った。

★委員会開催回数 1 回（11 月）

4) 事務局（事務局長・担当常務理事：萬理事）

【業務内容】

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する、と規定されるとともに、事務局長は理事の中から理事会が選任すること、事務長及び所要の職員を置くこと、と規定されている。

【2021 年度報告】

新入会者の審査、2020 年度事業報告、2022 年度事業計画、WEB 会議システムの導入と運用ルール見直しについての検討、U40 ワーキンググループの設置等の検討を行った。U40 では年次学術集会のパネル設置検討などを行った。

★ 委員会開催数 5 回（4 月、6 月、8 月、11 月、3 月）

5) ハラスメント対策室（担当理事：高雄理事）

【業務内容】

組織の運営を円滑にするためのハラスメント防止策を検討する。

【2021 年度報告】

理事に対するハラスメント講習会を実施した。

ハラスメントに関する「秘密保持誓約書」について、理事・監事に秘密保持誓約書の提出を実施した。

★委員会開催回数 0 回

6) 利益相反委員会（担当理事：恒吉理事）

【業務内容】

利益相反委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる利益相反について検討する。学会や会務に関わる会員および、非会員に利益相反が生じた場合、その処分を含む対応について検討する。

【2021 年度報告】

新規ガイドライン WG の利益相反調査を実施した。

★委員会開催回数 0 回

7) ダイバーシティ推進室（担当理事：高雄理事）

【業務内容】

学会の代議員や委員会委員に女性を増やす等の計画・立案・実施・検証を行う。

【2021 年度報告】

会員向けに声明を本学会の理事長声名として HP 掲載を行った。2021 年度支部学術集会大会長に、座長の女性登用の依頼を実施した。

★委員会開催回数 0回

10) その他

【登録・派遣】

日本医師会，日本医学会，厚生労働省医道審議会標榜医審査会，日本専門医機構研修プログラム委員会，日本専門医機構専門医認定・更新部門委員会，外科関連学会協議会，外科系医学会社会保険委員会連合，日本外科系連合学会，日本救急医療財団，日本蘇生協議会，3学会合同呼吸療法士認定委員会，日本歯科麻酔学会，全国MC協議会連絡会世話人会，全国医療安全共同行動，禁煙推進学術ネットワーク，日本医療安全調査機構，肺血栓塞栓症専門分析部会，中心静脈カテーテルに関する専門分析部会，アナフィラキシーに関連した死亡に関する専門部会，医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会，ISO/TC121 国内委員会，JIS 原案作成委員会委員，人工臓器治療関連学会協議会，臓器移植関連学会協議会，緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会，プログラム開発・改訂委員会，研修企画委員会，インストラクター育成委員会，認定委員会，学術委員会，幹事会，WFSA，AARS 等に委員を派遣し，各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

・各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会，市民公開講座等を協賛・後援を行った。

6. 2021 年度委員会委員等一覧

事務局 担当常務理事：萬 知子

事務局 長：萬 知子

事務局：磯野 史朗 杉田 道子 田村 岳士 藤野 裕士 水野圭一郎
森崎 浩

オブザーバー：上村 裕一 白石 義人 多田 恵一 増田 純一

神戸事務局

東京事務所

◆ U40 ワーキンググループ

WG 長：杉田 道子

副 WG 長：田村 岳士

メンバー：出野 智史 宇賀田 圭 打浪 有可 加島 有紀 川久保弥知
洪 景都 齋藤 秀悠 仙頭 佳起 武田 親宗 野中 崇広
三浦 大介 森田 知孝 山崎 景子 米倉 寛

オブザーバー：萬 知子 磯野 史朗

〔ハラスメント対策室〕

室 長：高雄由美子

委 員：濱田 宏

オブザーバー：顧問弁護士

〔ダイバーシティ推進室〕

推進室 長：高雄由美子

副 室 長：木下 真弓

室 員：近江 禎子 大瀧 千代 川股 知之 藤野 裕士 増田 美奈
森 隆 萬 知子

<常置委員会>

総務委員会 担当常務理事：齋藤 繁

委 員 長：齋藤 繁

副 委 員 長：藤野 裕士 溝渕 知司

委員：小森万希子 竹内 護 西脇 公俊 廣瀬 宗孝

〔社会保険部会〕

部会長：藤野 裕士

部会員：天谷 文昌 岩瀬 良範 久利 通興 桑内 亜紀
鈴木 康之 塚田さよみ 寺嶋 克幸 宮津 光範

オブザーバー：森崎 浩

〔会則検討部会〕

部会長：西脇 公俊

部会員：佐和 貞治 鎮西美栄子 前原 康宏 松本美志也

財 務 委 員 会 担当常務理事：松本美志也

委員長：松本美志也

副委員長：山田 高成

委員：小坂橋俊哉 長瀬 清

オブザーバー：多田羅恒雄

倫 理 委 員 会 担当常務理事：萬 知子

委員長：恒吉 勇男

副委員長：祖父江和哉

委員：井関 雅子 北野 敬明 萬家 俊博

オブザーバー：重見 研司

学 術 委 員 会 担当常務理事：中塚 秀輝

委員長：中塚 秀輝

副委員長：内田篤治郎 岡本 浩嗣

委員：井上莊一郎 内田 寛治 小田 裕 河野 達郎 川真田樹人
重見 研司 武田 吉正

〔第 68 回学術集会実行委員会〕

委員長：廣田 和美

副委員長：齋藤 繁

委員：天谷 文昌 磯野 史朗 垣花 学 川名 信 川前 金幸
櫛方 哲也 澤 智博 角倉 弘行 原 哲也 森本 裕二
山蔭 道明 萬 知子

◆ 第 68 回学術集会循環ワーキンググループ

WG 長：原 哲也

メンバー：辛島 裕士 田中 克哉 中島 芳樹 平田 直之 山崎 光章

◆ 第 68 回学術集会呼吸ワーキンググループ

WG 長：磯野 史朗

メンバー：浅井 隆 内田 寛治 木山 秀哉 鈴木 昭広 中山 禎人

◆ 第 68 回学術集会神経ワーキンググループ

WG 長：垣花 学

メンバー：内野 博之 河野 崇 櫛方 哲也 倉田 二郎 河野 達郎
田辺久美子

◆ 第 68 回学術集会小児・産科ワーキンググループ

小児 WG 長：川名 信

産科 WG 長：角倉 弘行

メンバー：大瀧 千代 小原崇一郎 香川 哲郎 遠山 悟史 長坂 安子
中畑 克俊

◆ 第 68 回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

W G 長：天谷 文昌

メンバ－：井上 莊一郎 橋口 さおり 服部 政治 山内 正憲 山口 重樹

◆ 第 68 回学術集会救急・ICU ワーキンググループ

W G 長：川前 金幸

メンバ－：江木 盛時 片山 浩 志馬 伸朗 祖父江和哉 谷口 巧
 升田 好樹

◆ 第 68 回学術集会麻酔科関連－1 ワーキンググループ

W G 長：森本 裕二

メンバ－：石川 真士 小原 伸樹 小竹 良文 讃岐美智義 高木 俊一
 萩平 哲 増井 健一

◆ 第 68 回学術集会麻酔科関連－2 ワーキンググループ

W G 長：萬 知子

メンバ－：小田 裕 佐藤 健治 里元麻衣子 長谷川麻衣子 堀田 訓久
 萬家 俊博

◆ 第 68 回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

W G 長：澤 智博

メンバ－：佐和 貞治 重見 研司 鈴木 健二 高橋 伸二 長瀬 清
 中塚 秀輝 新山 幸俊 水原 敬洋 森松 博史

◆ 第 68 回学術集会 Medically Challenging Cases ワーキンググループ

W G 長：山蔭 道明

メンバ－：青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 内田 寛治 江木 盛時
 小田 裕 小原 伸樹 河野 崇 櫛方 哲也 蔵谷 紀文
 末廣 浩一 角倉 弘行 平田 直之 堀田 訓久 増井 健一

〔第 69 回学術集会実行委員会〕

委 員 長：齋藤 繁

副 委 員 長：藤野 裕士

委 員：磯野 史朗 井上 莊一郎 内野 博之 大瀧 千代 香川 哲郎
 小竹 良文 高澤 知規 谷口 巧 中島 芳樹 中塚 秀輝
 萬家 俊博

◆ 第 69 回学術集会循環ワーキンググループ

W G 長：中島 芳樹

メンバ－：辛島 裕士 竹内 護 田中 克哉 堤 保夫

◆ 第 69 回学術集会呼吸ワーキンググループ

W G 長：磯野 史朗

メンバ－：内田 寛治 川越いづみ 北村 祐司 鈴木 昭広 中山 禎人

◆ 第 69 回学術集会神経ワーキンググループ

W G 長：内野 博之

メンバ－：紙谷 義孝 櫛方 哲也 合谷木 徹 田辺久美子 森 隆

◆ 第 69 回学術集会小児・産科ワーキンググループ

小児 W G 長：香川 哲郎

産科 W G 長：大瀧 千代

メンバ－：五十嵐あゆ子 小原崇一郎 角倉 弘行 中畑 克俊

◆ 第 69 回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

W G 長：井上 莊一郎
メンバ－：柴田 康之 須藤 貴史 新山 幸俊 間宮 敬子 山内 正憲

◆ 第 69 回学術集会救急・ICU ワーキンググループ

W G 長：谷口 巧
メンバ－：江木 盛時 川前 金幸 鈴木 武志 中根 正樹 升田 好樹

◆ 第 69 回学術集会麻酔科関連－1 ワーキンググループ

W G 長：小竹 良文
メンバ－：石川 真士 小原 伸樹 高木 俊一 増井 健一 山浦 健

◆ 第 69 回学術集会麻酔科関連－2 ワーキンググループ

W G 長：萬家 俊博
メンバ－：小田 裕 高澤 知規 恒吉 勇男 長谷川麻衣子
堀田 訓久

◆ 第 69 回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

W G 長：中塚 秀輝
メンバ－：坂口 嘉郎 佐和 貞治 鈴木 健二 高橋 伸二 長瀬 清
水原 敬洋

〔第 70 回学術集会実行委員会〕

委 員 長：藤野 裕士
副 委 員 長：松本美志也
委 員：内田 寛治 江木 盛時 大瀧 千代 蔵谷 紀文 坂口 嘉郎
田中 克哉 恒吉 勇男 森 隆 山内 正憲 山浦 健

◆ 循環ワーキンググループ

W G 長：田中 克哉
メンバ－：入嵩西 毅 加藤 純悟 辛島 裕士 小嶋亜希子 下川 亮
横塚 基

◆ 呼吸ワーキンググループ

W G 長：内田 寛治
メンバ－：北村 祐司 倉橋 清泰 高木 俊介 中山 禎人 馬場 靖子
吉田 健史

◆ 神経ワーキンググループ

W G 長：森 隆
メンバ－：紙谷 義孝 櫛方 哲也 合谷木 徹 田辺久美子 荻野 祐一

◆ 小児・産科ワーキンググループ

小児 W G 長：蔵谷 紀文
産科 W G 長：大瀧 千代
メンバ－：安藤 一雄 小原崇一郎 角倉 弘行 田辺瀬良美 名和由布子

◆ ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

W G 長：山内 正憲
メンバ－：柴田 康之 須藤 貴史 佐藤 仁昭 新山 幸俊 間宮 敬子

◆ 救急・ICU ワーキンググループ

W G 長：江木 盛時
メンバ－：内山 昭則 大藤 純 鈴木 武志 徳平 夏子 中根 正樹
升田 好樹

◆ 麻酔科関連－1 ワーキンググループ

W G 長：山浦 健
メンバ－：石川 真士 大田 典之 小原 伸樹 高橋 完 堤 保夫

◆ 麻酔科関連－２ワーキンググループ

W G 長：恒吉 勇男
メンバ－：小田 裕 北野 敬明 高澤 知規 長谷川麻衣子 堀田 訓久

◆ 麻酔全般ワーキンググループ

W G 長：坂口 嘉郎
メンバ－：大槻 明広 佐和 貞治 鈴木 健二 高橋 伸二 谷 真規子
長瀬 清 原 哲也

〔学術研究審査委員会〕

委 員 長：磯野 史朗
委 員：浅井 隆 垣花 泰之 川股 知之 櫛方 哲也 藤野 裕士
増井 健一 松本美志也

〔麻酔科学用語専門部会〕

部 会 長：岡本 浩嗣
部 会 員：江木 盛時 小竹 良文 志馬 伸朗 角倉 弘行 遠山 悟史
増井 健一 益田 律子

〔機関誌専門部会〕

部 会 長：内田篤治郎
部 会 員：天谷 文昌 磯野 史朗 市瀬 史 岡本 浩嗣 小田 裕
垣花 学 川口 昌彦 照井 克生 橋本 悟 山浦 健

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：天谷 文昌
Associate Editor-in-Chief：浅井 隆
Section Editor：浅井 隆 (Airway)
田中 聡 (Pain Medicine)
内田 寛治 (Respiratory Medicine)
江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)
河野 崇 (Clinical Pharmacology)
小原 伸樹 (Clinical Monitoring)
櫛方 哲也 (Neuroscience)
青山 和由 (Pediatric Anesthesia)
末廣 浩一 (Perioperative assessment and management)
松田 祐典 (Obstetric Anesthesia)
平田 直之 (Cardiovascular Medicine)
小田 裕 (Clinical Reports)
堀田 訓久 (Regional Anesthesia)
高澤 知規 (Social Problem and Economics)
角倉 弘行 (Section Editor)
廣田 和美 (Section Editor)
増井 健一 (Section Editor)
山蔭 道明 (Section Editor)

〔JA Clinical Reports Editorial Board〕

Editor-in-Chief：小田 裕
Section Editor：青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 磯野 史朗 井上莊一郎
内田 寛治 江木 盛時 小原 伸樹 河野 崇 垣花 学
川口 昌彦 櫛方 哲也 齋藤 繁 末廣 浩一 角倉 弘行
高澤 知規 照井 克生 橋本 悟 平田 直之 廣田 和美
堀田 訓久 増井 健一 松田 祐典 山蔭 道明

〔「麻酔」編集会議〕

委員：磯野 史朗 小竹 良文

国際交流委員会 担当常務理事：中塚 秀輝

委員長：加藤 里絵

副委員長：江木 盛時

委員：岩崎 肇 川越いづみ 白水 和宏 仙頭 佳起 中根 正樹
松田 祐典

オブザーバー：大瀧 千代

関連領域検討委員会 担当常務理事：内野 博之

委員長：水野圭一郎

副委員長：高雄由美子

委員：大瀧 千代 大西 佳彦 谷口 巧 谷口 由枝 西田 修
山口 重樹

〔集中治療領域検討部会〕

部会長：西田 修

部会員：内山 昭則 垣花 泰之 黒田 泰弘 志馬 伸朗 升田 好樹

〔ペイン領域検討部会〕

部会長：高雄由美子

部会員：井関 雅子 上野 博司 濱口 眞輔 平川奈緒美 渡邊 恵介

〔緩和領域検討部会〕

部会長：山口 重樹

部会員：天谷 文昌 佐藤 哲観 橋口さおり 間宮 敬子

〔救急領域検討部会〕

部会長：谷口 巧

部会員：黒田 泰弘 志馬 伸朗 成松 英智

外部委員：木村 昭夫 坂本 哲也

〔心臓血管麻酔領域検討部会〕

部会長：大西 佳彦

部会員：岡本 浩嗣 川口 昌彦 野村 実

〔産科麻酔領域検討部会〕

部会長：大瀧 千代

部会員：上山 博史 狩谷 伸享 杉田 道子 角倉 弘行 照井 克生
中島 芳樹

〔小児麻酔領域検討部会〕

部会長：谷口 由枝

部会員：香川 哲郎 川人 伸次 鈴木 康之

◆ ECC 講習会支部担当責任者ワーキンググループ

WG 長：高橋 伸二（東京・関東甲信越）

メンバー：今泉 均（北海道） 伊関 憲（東北） 間瀬 則文（北海道）
羽場 政法（関西） 石川 雅巳（中国四国） 矢野 隆郎（九州）

オブザーバー：田勢長一郎 多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

WG 長：川前 金幸

メンバー：鈴木 昭広 原 哲也 中尾 慎一 水本 一弘

教育委員会

担当常務理事：内野 博之

委員長：内野 博之

副委員長：川股 知之 坂口 嘉郎

委員：倉橋 清泰 佐和 貞治 鈴木 康之 長田 理 原 哲也
森崎 浩

オブザーバー：恒吉 勇男 中塚 秀輝

◆ 専門医研修プログラム検討ワーキンググループ

W G 長：山口 重樹

メンバー：小出 康弘 長田 理 水本 一弘 溝渕 知司

◆ サイトビジット研修プログラム評価制度ワーキンググループ

W G 長：川口 昌彦

メンバー：坂口 嘉郎 間宮 敬子 水本 一弘

オブザーバー：佐和 貞治

◆ CBT ワーキンググループ

W G 長：佐和 貞治

メンバー：江木 盛時 恒吉 勇男 寺嶋 克幸

オブザーバー：坂口 嘉郎

〔認定審査委員会〕

委員長：内野 博之

副委員長：倉橋 清泰 鈴木 康之 原 哲也 森崎 浩

オブザーバー：中塚 秀輝

〔第1部会（専門医認定）〕

部会長：原 哲也

部会員：川股 知之 倉橋 清泰 恒吉 勇男 藤野 裕士

オブザーバー：中塚 秀輝

<筆記試験>

問題作成責任者：川股 知之

メンバー：池田 健彦 秋永智永子 内田 寛治 鈴木 武志 中畑 克俊
今町 憲貴 江木 盛時 田中 聡 秋吉浩三郎 原 哲也
新山 幸俊 河野 達郎

<口頭試験>

問題作成責任者：倉橋 清泰

メンバー：北野 敬明 田中 克哉 武田 吉正 小山 薫
森 隆 紙谷 義孝 天谷 文昌 橘 一也 合谷木 徹

オブザーバー：木山 秀哉

〔第2部会（指導医認定）〕

部会長：森崎 浩

部会員：櫛方 哲也 小出 康弘 多田羅恒雄

〔第3部会（認定医, 認定施設認定）〕

部会長：鈴木 康之

部会員：香取 信之 原 哲也 山浦 健 萬家 俊博

〔第4部会（研修プログラム認定）〕

部会長：倉橋 清泰

部会員：加藤 里絵 鈴木 健二 長田 理 橋口さおり

溝渕 知司

オブザーバー：小森万希子 中塚 秀輝

安全委員会

担当常務理事：齋藤 繁

委員長：山内 正憲

副委員長：田中 克哉 山浦 健

委員：奥田 泰久 垣花 学 田口奈津子 武居 哲洋 廣田 和美
藤村 直幸

〔偶発症例（肺塞栓）専門部会〕

部会長：垣花 学

部会員：北 貴志 黒岩 政之 佐藤 哲文 藤村 直幸 増井 健一

〔医薬品適正評価対策専門部会〕

部会長：山浦 健

部会員：岩崎 達雄 杉野 繁一 田口 奈津子 西脇 公俊 平木 照之

〔CCP 専門部会〕

部会長：奥田 泰久

部会員：吾妻 俊弘 關山 裕詩 田中 克哉 山口 重樹

〔麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会〕

部会長：山内 正憲

部会員：佐和 貞治 谷口 巧 山田 高成

◆ JSAPIMS 周術期情報システムワーキンググループ

WG 長：澤 智博

メンバー：岡本 浩嗣 川股 知之 蔵谷 紀文 讃岐美智義 佐和 貞治
武居 哲洋 水原 敬洋 増井 健一

◆ 医薬品ガイドライン改訂ワーキンググループ

WG 長：山浦 健

メンバー：垣花 泰之 加藤 里絵 川股 知之 合谷木 徹 坂口 嘉郎
白水 和宏 鈴木 孝浩 田中 克哉 戸田雄一郎 中島 芳樹
原 哲也 山口 重樹

◆ ICD 制度協議会運営ワーキンググループ

WG 長：稲垣 喜三

メンバー：白石 義人 田口奈津子 森本 裕二

◆ アナフィラキシーへの対応ガイドラインワーキンググループ

WG 長：高澤 知規

メンバー：杉野 繁一 原 哲也 光畑 裕正 山浦 健 萬 知子

◆ 鎮静ワーキンググループ

WG 長：原 哲也

メンバー：伊藤 健二 河野 崇 阪井 裕一 田中 克哉

外部委員：渋谷 鉦 辻野佳世子 宮内 靖史

◆ MEP モニタリングガイドライン作成ワーキンググループ

WG 長：川口 昌彦

メンバー：飯田 宏樹 和泉 俊輔 垣花 学 田中 聡 林 浩伸
福岡 尚和 吉谷 健司

◆ 術中の心肺蘇生ガイドライン作成ワーキンググループ

WG 長：高橋 伸二

メンバー：加藤 里絵 小山 薫 篠塚 典弘 祖父江和哉 高澤 知規

田中 克哉 矢野 隆郎

◆ A P S F ニュースレター日本語版作成ワーキンググループ

W G 長：祖父江和哉
メンバー：飯田 宏樹 川越いづみ 酒井 陽子 澤 智博 仙頭 佳起
田辺久美子 藤本 陽平 安田 篤史

◆ 周術期禁煙推進ワーキンググループ

W G 長：飯田 宏樹
メンバー：甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
米倉 寛

◆ 周術期禁煙ガイドライン改訂ワーキンググループ

WG長：飯田 宏樹
メンバー：甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
米倉 寛
外部委員：飯田 真美 福田 幾夫

◆ 産科麻酔・無痛分娩に関する検討ワーキンググループ

W G 長：奥田 泰久
メンバー：岩崎 達雄 大瀧 千代 谷口 巧 照井 克生 藤村 直幸

◆ 全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン作成ワーキンググループ

W G 長：磯野 史朗
メンバー：加藤 里絵 小竹 良文 鈴木 康之

◆ 特定行為に関する安全性の検討ワーキンググループ

W G 長：藤村 直幸
メンバー：北川 裕利 中村 京太 横山 健 萬 知子

◆ 高齢者の麻酔ガイドライン作成ワーキンググループ

W G 長：川股 知之
メンバー：藤井 啓介 立花 俊祐 新山 幸俊 恵川 淳二
河野 崇

広報委員会 担当常務理事：萬 知子

委員長：鈴木 孝浩
副委員長：澤村 成史 鈴木 昭広
委員：川口 昌彦 笹川 智貴 讃岐美智義 高木 俊一 中澤 春政
森 隆

◆ 手技動画作成検討ワーキンググループ

W G 長：鈴木 昭広
メンバー：川股 知之 笹川 智貴 讃岐美智義 高木 俊一 田中 克哉
中澤 春政

麻酔博物館委員会 担当常務理事：齋藤 繁

委員長：間宮 敬子
委員：上山 博史 近江 禎子 小山 薫 伊吹 京秀
高澤 知規 武田 純三 奥富 俊之 水本 一弘
オブザーバー：松木 明知 齋藤 繁

〔麻酔博物館 館員ボード〕

館長：武田 純三
館員：伊吹 京秀 奥富 俊之 金子 武彦 齋藤 繁 土手 健太郎

牧野 洋 松木 明知 間宮 敬子

〔ISHA 開催専門部会〕

部 会 長：齋藤 繁
委 員：伊吹 京秀 奥富 俊之 片桐美和子 金子 武彦 菅井 直介
高澤 知規 武田 純三 土手健太郎 中田 善規 牧野 洋
松木 明知 間宮 敬子

＜特 別 委 員 会＞

【周 術 期 管 理 チ ー ム 委 員 会】

委 員 長：齋藤 繁
副 委 員 長：大瀧 千代
委 員：江島 豊 川口 昌彦 川股 知之 川真田樹人 木山 秀哉
佐藤 健治 重見 研司 廣瀬 宗孝 松本美志也 森崎 浩
山内 正憲
外 部 委 員：荒木 康幸 北本 憲永 木村 三香 栗田 浩 小西 康司
柴田ゆうか 関谷 秀樹 舟越 亮寛 山本 千恵 横溝 宗子

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委 員 長：齋藤 繁
副 委 員 長：恒吉 勇男 中塚 秀輝
委 員：溝渕 知司 森崎 浩
外 部 委 員：北本 憲永 木村 三香 高橋 秀暢 横田富美子

◆ 周術期管理チーム試験問題作成ワーキンググループ

W G 長：松本美志也
メ ン バー：飯田 良司 石田 高志 石田 裕介 角山 正博 草間 宣好
小坂 康晴 佐藤 健治 柴崎 雅志 高田 真二 田中 聡
遠山 悟史 成澤あゆ香 丹羽 康則 原 芳樹 平田 直之
古井 郁恵 坊垣 昌彦 簗島 梨恵 矢田部智昭
外 部 委 員：青木 宏介 荒木 康幸 後藤 悟史 松沼 早苗

◆ 周術期管理チームテキスト作成ワーキンググループ

W G 長：川股 知之
メ ン バー：河野 達郎 佐藤 暢一 鈴木 孝浩 角倉 弘行 恒吉 勇男
外 部 委 員：柴田ゆうか 高橋 秀暢 山口 円

◆ 周術期管理チームセミナーワーキンググループ

W G 長：木山 秀哉
メ ン バー：上山 博史 小原 伸樹 鎌田ことえ 川股 知之 坂口 嘉郎
鈴木 聡 田村 岳士 長瀬 清 中塚 秀輝

【特定行為研修管理委員会】

委 員 長：廣瀬 宗孝
責 任 者：川口 昌彦
委 員：大瀧 千代 川真田樹人 後藤 隆久 小森万希子 齋藤 繁
佐藤 暢一 田中 聡 内藤 祐介 長坂 安子 藤野 裕士
藤原 祥裕
外 部 委 員：鈴木敬一郎 ミルズしげ子 山口 円

【特定行為研修審査委員会】

委 員 長：廣瀬 宗孝
委 員：大瀧 千代 小森万希子 齋藤 繁 佐藤 暢一 田中 聡
内藤 祐介 長坂 安子 原 哲也
外 部 委 員：山口 円

【利益相反委員会】

委員長：恒吉 勇男
委員：北川 裕利
オブザーバー：顧問弁護士

小森万希子 森本 裕二

【支部委員会】

委員：山内 正憲 内田篤治郎 岡本 浩嗣 祖父江和哉 溝渕 知司
松本美志也 坂口 嘉郎

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支部長：山内 正憲
総務委員：黒澤 伸
学術委員：川前 金幸 鈴木 健二 森本 裕二
教育委員：片山 勝之 神田 恵 笹川 智貴 廣田 和美 山蔭 道明
広報委員：枝長 充隆 斉藤 仁志 下田 栄彦 外山 裕章 新山 幸俊

(東京支部)

支部長：内田篤治郎
総務委員：加藤 里絵 小森万希子 萬 知子
学術委員：井関 雅子 小竹 良文 鈴木 孝浩 森崎 浩
教育委員：上園 晶一 内野 博之 内田 寛治 澤 智博
広報委員：近江 禎子 澤村 成史 長坂 安子

(関東・甲信越支部)

支部長：岡本 浩嗣
総務委員：川真田樹人 木下 真弓 後藤 隆久
学術委員：磯野 史朗 井上莊一郎 奥田 泰久 馬場 洋
教育委員：北村 晶 小坂橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
広報委員：北村 享之 小山 薫 山口 重樹

(東海・北陸支部)

支部長：祖父江和哉
総務委員：中島 芳樹 西脇 公俊 山崎 光章 山本 洋子
学術委員：白石 義人 高橋 完 藤原 祥裕
教育委員：飯田 宏樹 鈴木 照 西田 修
広報委員：重見 研司 高橋 麗子 谷口 巧

(関西支部)

支部長：溝渕 知司
学術委員：佐和 貞治 藤野 裕士
教育委員：川股 知之
広報委員：北川 裕利
委員：上山 博史 大西 佳彦 上林 卓彦 川口 昌彦 田中 具治
廣瀬 宗孝 南 敏明 美馬 裕之 森 隆 湯浅 晴之

(中国・四国支部)

支部長：松本美志也
総務委員：齊藤 洋司
学術委員：河野 崇 中塚 秀輝 堤 保夫
教育委員：田中 克哉 中條 浩介
広報委員：萬家 俊博 岩崎 達雄
委員：奥 格 鷹取 誠 多田 文彦 田中 裕之

(九州支部)

支 部 長	：坂口 嘉郎			
総 務 委 員	：恒吉 勇男	平木 照之	山本 達郎	
学 術 委 員	：垣花 学	原 哲也	山浦 健	
教 育 委 員	：秋吉浩三郎	北野 敬明	堀下 貴文	森山 孝宏
広 報 委 員	：辛島 裕士	杉田 道子	平川奈緒美	水野圭一郎

7. 2021 年度関連諸団体委員等一覧

【日 本 医 師 会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

【日 本 医 学 会】

評 議 員：山蔭 道明

連 絡 委 員：萬 知子

医学用語連絡委員：岡本 浩嗣

代 委 員：小竹 良文

利益相反委員：萬 知子

第 31 回日本医学会総会学術委員会 U40 メンバー：廣瀬 佳代

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

部 長 代 理：西脇 公俊

委 員	：溝渕 知司	廣田 和美	小森万希子	中塚 秀輝
	上村 裕一	木下 真弓	近江 禎子	

【日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会】

委 員：坂口 嘉郎

【日本専門医機構麻酔科領域研修委員会】

委 員：坂口 嘉郎

【外科関連学会協議会】

委 員	：落合 亮一	齋藤 繁	森崎 浩
懇 談 会	：佐藤 哲文	鈴木 宏昌	竹内 護

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処 置 委 員 会 委 員：寺嶋 克幸

処置委員会（処置コーディング WG）：澤 智博

検 査 委 員 会 委 員：久利 通興

検査委員会（生体検査 医療材料 WG）：久利 通興

手 術 委 員 会 委 員：横田 美幸

実務委員会委員・手術委員会委員：横田 美幸

手術委員会（コーディング WG）：澤 智博

手術委員会（医療材料・医療機器 WG）：岩瀬 良範

麻 酔 委 員 会 委 員 長：山田 芳嗣

麻 酔 委 員 会 副 委 員 長：横田 美幸

麻 酔 委 員 会 委 員：森崎 浩 岩瀬 良範

麻酔委員会（全身麻酔 WG）：横田 美幸 森崎 浩 岩瀬 良範

麻酔委員会（麻酔深鎮静 WG）：横田 美幸 森崎 浩 天谷 文昌

総 務 委 員 会 委 員：山田 芳嗣 久利 通興

【日 本 外 科 系 連 合 学 会】

総 務 委 員：鈴木 宏昌

【日本救急医療財団】

心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一

非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】

理事：小澤 章子

ガイドライン 2021 共同座長：石川 雅巳 加藤 啓一

ガイドライン 2021 部会員：竹内 昭憲 野田英一郎 伊関 憲

長谷 敦子 中野 浩 小林 忠宏

ガイドライン 2021 外部評価委員：堤 保夫

妊産婦心肺蘇生作業部会員：加藤 里絵 高橋 伸二

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】

派遣委員：川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】

監事：小板橋俊哉

【全国MC協議会連絡会世話人会】

世話人：多田 恵一

【医療安全全国共同行動】

委員：垣花 学

【禁煙推進学術ネットワーク】

委員：飯田 宏樹

【日本医療安全調査機構】

委員：山内 正憲

北海道・東北ブロック：山内 正憲

関東ブロック：岡本 浩嗣

東京ブロック：内田篤治郎

東海北陸ブロック：祖父江和哉

近畿ブロック：溝渕 知司

中国四国ブロック：松本美志也

九州ブロック：坂口 嘉郎

【ICD制度協議会】

委員：白石 義人

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】

委員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】

委員：山内 正憲 長坂 安子 山本 俊介

【JIS 原案作成委員会委員】

委員：森松 博史

【人工臓器治療関連学会協議会】

委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委員：森松 博史

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委員：齊藤 洋司

【日本母体救命システム普及協議会】

理事：奥田 泰久 大瀧 千代 山内 正憲

【無痛分娩関係学会・団体連絡協議会】

委員：奥田 泰久 水野圭一郎 山内 正憲

有害事象分科会：奥田 泰久 山内 正憲

研修体制分科会：大瀧 千代 奥田 泰久 角倉 弘行

情報公開分科会：川真田樹人 水野圭一郎

【厚生労働省 研究班（脳死下・心停止下における臓器・組織提供ドナー家族における満足度の向上及び効率的な提供体制構築に資する研究）】

委員：松本美志也

【日本集中治療学会 サブスペシャルティ専門研修プログラム作成委員会】

アドバイザー：藤野 裕士

【一般社団法人 臨床試験医師養成協議会】

理事：山蔭 道明

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

○Council

Executive Committee：齊藤 繁

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行

Paediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文

Publication Committee：山蔭 道明

Pain Management Committee：天谷 文昌

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：小板橋俊哉

【厚生労働省 研究班「5 類型施設における効率的な臓器・組織提供体制構築に資する研】

研究分担者：藤野 裕士

【歯科医師の医科麻酔科研修の実施状況等の分析のための委員会】

委員：森崎 浩 藤野 裕士

【2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制検討合同委員会】

委員：森崎 浩 谷口 巧

以上

9. 事業監査報告書

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2022 年 4 月 28 日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事

足と健夫



私は、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの 2021 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2022 年 4 月 28 日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事

いづみ 章子 

私は、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの 2021 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2022 年 4 月 28 日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事 白神 豪太郎 

私は、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの 2021 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上